

P3NU-E012-05

SGML Library

ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カード 取扱説明書

安全にお使いいただくために

本取扱説明書には、ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カードを安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カードをお使いになる前に、本取扱説明書を熟読してください。特に本取扱説明書の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カードをお使いください。また、本製品をご使用になる間は、本取扱説明書を大切に保管してください。

はじめに

このたびは、ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カード（本カード）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本カードは、PCI スロットを採用したサーバ本体のスロットに装着することによって、FAX システムを構築するための装置です。

本取扱説明書は、本カードの基本的な取り扱いについて説明しています。ご使用の際には、本取扱説明書をお読みになり、本カードを正しくご使用くださるよう、お願いいたします。

使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、カード本体およびその内蔵ソフトウェアについてのご使用はお客様側の責任において行っていただきます。

本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、富士通株式会社では一切責任を負いかねます。

また、本製品の障害の保証範囲はいかなる場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される内蔵ソフトウェアおよび本製品用として富士通株式会社より提供されるアップデート用内蔵ソフトウェアについては、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法および改変や分解について一切許可していません。

本取扱説明書の表記について

本取扱説明書で使用する用語について

本取扱説明書では、INS ネット 64 など (2B+D チャネル構成) の回線のことを単に ISDN または ISDN 回線、ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カード (本カード) のことを IFPC と表記します。

また、日本電信電話株式会社を NTT と表記します。

警告表示について

本取扱説明書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告表示をしています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文から構成しています。以下に、警告レベルの記号を示し、その意味を説明します。



この記号は、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。



この記号は、正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自体またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。

安全上のご注意

警告事項一覧

本カードに関する重要な警告事項は以下のとおりです。本カードを安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。



正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。

作業区分	警告事項
感電・火災 について	本カードの分解・解体・改造・再生を行わないでください。 感電・火災・故障の原因となります。
	本カードをサーバに取り付けるときは、サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから取り外してください。感電の原因となります。
	直射日光の当たる場所や暖房機の近く、湿気、ホコリの多い場所には置かないでください。故障・感電・火災の原因となります。
	濡れた手で、ケーブルを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。
	本カードに水をかけないでください。故障・火災・感電の原因となります。
	近くで雷が起きたときは、本カードやケーブルの設置は行わないでください。雷によっては、感電するおそれがあります。
	10BASE-TポートおよびISDNポートには、指などを入れないでください。感電の原因となります。

安全上のご注意

作業区分	警告事項
破損・負傷 について	梱包に使用しているビニール袋はお子様がお口にいたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。 窒息の原因となります。
	本装置の廃棄時には、他のゴミと一緒に捨てないでください。 火中に投げると破裂の恐れがあります。



この記号は、正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自体またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。

作業区分	警告事項
故障について	極端な高温、あるいは低温状態や温度変化の激しい場所で使用しないでください。故障の原因となります。
	塩害地域では使用しないでください。故障の原因となります。
	衝撃や振動の加わる場所で使用しないでください。 故障の原因となります。
	モータなど、強い磁界を発生する装置の近くで使用しないでください。故障の原因となります。
	本カードは静電気の影響を受けやすいので、部品面を下にして置くか、伝導パッドなどの上に置いてください。 また、拡張スロットの接点部分や部品には、素手で触らないでください。故障の原因となります。
	国内のみで使用してください。 本カードは国内仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。
	内部に液体や金属類など異物が入った状態で使用しないでください。故障の原因となります。
電波障害 について	ラジオやテレビジョン受信機の近くで使用しないでください。 ラジオやテレビジョン受信機に雑音が入る場合があります。

コピーライトについて



このロゴは、Stack Electronics 社の商標です。ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カードには、Stack Electronics 社が著作権を有しているプログラムが含まれています。

ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カードには、RSA Data Security 社が著作権を有している MD5 Message-Digest Algorithm が含まれています。

Copyright(c)1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

Copyright(c)1980, 1986, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Copyright(C)1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

@(#)COPYRIGHT 8.2(Berkeley)3/21/94

All of the documentation and software included in the 4.4BSD and 4.4BSD-Lite Releases is copyrighted by The Regents of the University of California.

Copyright 1979, 1980, 1983, 1986, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
- 4) Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The Institute of Electrical and Electronics Engineers and the American National Standards Committee X3, on Information Processing Systems have given us permission to reprint portions of their documentation.

In the following statement, the phrase "this text" refers to portions of the system documentation.

Portions of this text are reprinted and reproduced in electronic form in the second BSD Networking Software Release, from IEEE Std 1003.1-1988, IEEE Standard Portable Operating System Interface for Computer Environments (POSIX), copyright C 1988 by the Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. In the event of any discrepancy between these versions and the original IEEE Standard, the original IEEE Standard is the referee document.

In the following statement, the phrase "This material" refers to portions of the system documentation.

This material is reproduced with permission from American National Standards Committee X3, on Information Processing Systems. Computer and Business Equipment Manufacturers Association (CBEMA), 311 First St., NW, Suite 500, Washington, DC 20001-2178. The developmental work of Programming Language C was completed by the X3J11 Technical Committee.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the Regents of the University of California.

Copyright (c) 1989 Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

本書では、「Microsoft[®] Windows NT[®] operating system」を「Windows NT[®]」と略記しています。Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

お使いになる前に

ここでは、各部の名称と機能および ISDN 回線への加入手続きについて説明しています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。

なお、本製品の付属品については、付属品一覧を参照してください。

必要となる機材

IFPC をご使用になるには、以下のものがが必要です。

なお、添付品については、付属品一覧を参照してください。

- IFPC を制御するサーバに LAN カード
- HUB またはサーバと IFPC を接続する 10BASE-T ケーブル (ストレートケーブル)
- モジュラコネクタとの接続に使用する S/T 点 (ISDN) ケーブル
- 10BASE-T ケーブル (クロスケーブル)

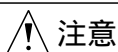
IFPC 導入時や交換時に、一時的にサーバと IFPC を直接接続して IFPC を設定する場合に必要です。

また、必要に応じて以下もご用意ください。

- HUB
- DSU やモジュラコネクタ

DSU やモジュラコネクタについては、お客様ご購入される方法と、INS64 契約時に施設工事を含めて NTT に依頼する方法があります。

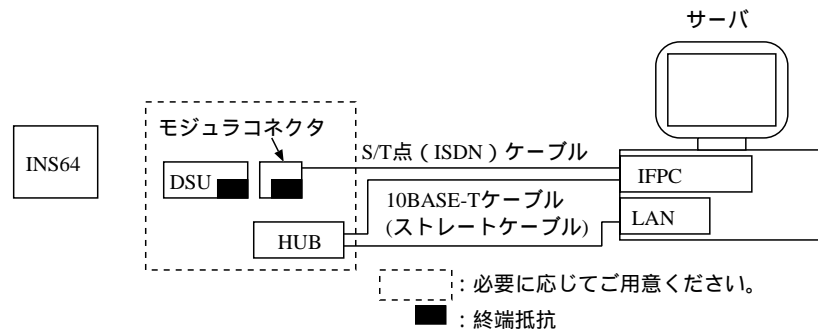
モジュラコネクタは、必ず終端抵抗を内蔵したものをご使用ください。



注意

既存の設備をご使用になる場合は、必ずモジュラコネクタに終端抵抗が内蔵されていることを確認してください。終端抵抗を内蔵していない場合、終端抵抗を内蔵したものに変更する必要があります。このような工事を行う場合は電気通信事業法関連政省令により、工事担当者の資格が必要です。お近くの NTT 窓口へご相談ください。

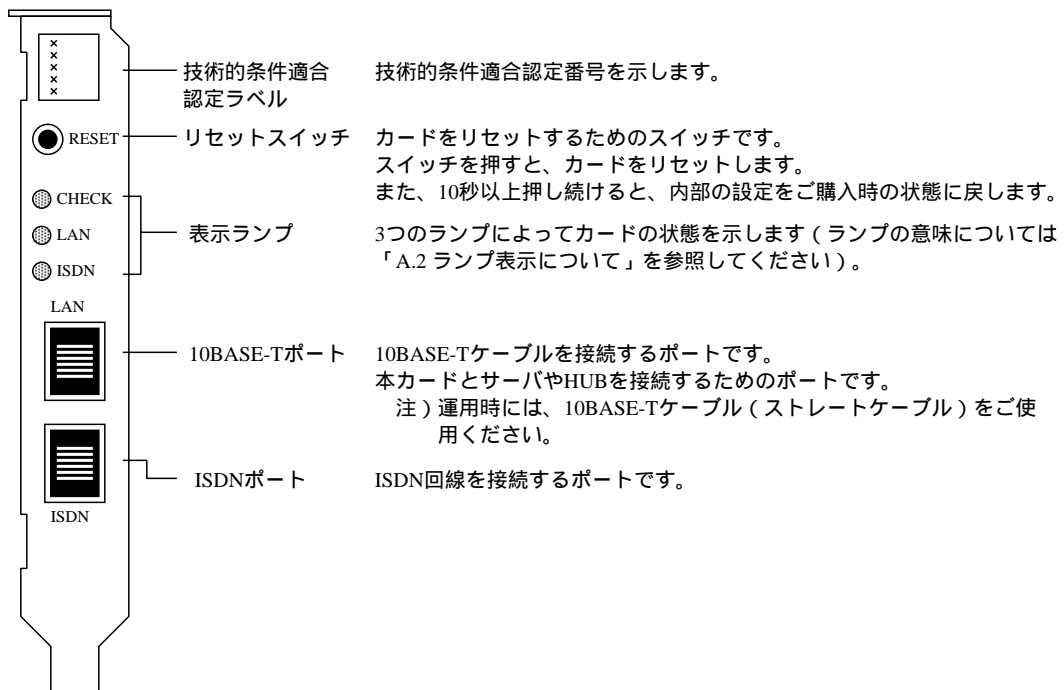
マルチドロップ接続用に2個口以上のモジュラコネクタをご使用になる場合は、必ずその先に1個口の終端抵抗入りのモジュラコネクタを接続し、IFPCを接続してください。



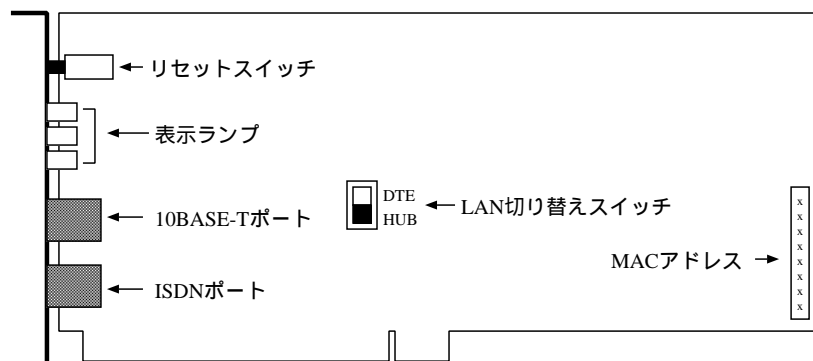
各部の名称と機能

以下に、本カードの各部の名称を示し、その機能を説明します。

カード 前面



カード 内部



LAN 切り替えスイッチ 10BASE-T ポートの接続相手を選択します。「HUB」を設定してください。

DTE 側

使用しないでください。

HUB 側

本カードの 10BASE-T ポートと HUB を 10BASE-T (ストレートケーブル) で接続します。

また、本カード 導入時 / 交換時に一時的に IP アドレスを設定するために、本カードの 10BASE-T ポートとサーバの 10BASE-T ポートを 10BASE-T ケーブル (クロスケーブル) で接続します。

MAC アドレス 本カードに設定されている MAC アドレス (LAN の識別番号) を示します。

回線への加入手続き

本カードは回線網として以下を使用できます。

- NTTのINS ネット 64 (ISDN 回線)

詳細は、お近くのNTT窓口にお問い合わせください。

本カードではパケット通信は行えません。

INS ネット 64 をご利用になる場合

ISDN 回線をご利用になる場合、以下の制限事項に従って加入契約してください。

詳しくは、お近くのNTT窓口にお問い合わせください。

インタフェース形態およびレイヤ 1 起動種別

「P-MP 呼毎」で契約してください。



注意

本カードはP-MP 接続のみをサポートしています。P-P 接続でのご契約では接続できません。

「グローバル着信は利用しない」という契約が必要です。

1999年1月

1998年4月初版
1998年6月2版
1998年9月3版
1998年12月4版
1999年1月5版

お使いになる前に

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

お願い

- 本書を無断で他に転載しないようお願いいたします。
- 本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 1998-1999

目次

1	概要	1
	1.1 IFPC とは	1
	1.2 システム概要	2
2	運用形態と準備作業	3
	2.1 IFPC の運用形態と準備作業の関係	3
	2.2 環境設定ツールのインストールとアンインストール	5
	2.2.1 環境設定ツールのインストール	5
	2.2.2 環境設定ツールのアンインストール	5
	2.3 サーバの IP アドレスの変更	6
	2.4 接続形態	7
	2.5 IFPC の実装方法	8
	2.6 IFPC の環境設定	8
	2.6.1 IFPC の定義を追加するには	8
	2.6.2 IFPC の定義を変更するには	11
	2.6.3 IFPC の定義を削除するには	12
	2.7 状態表示	14
	2.8 IFPC を交換するには	15
3	困ったときに	16
	3.1 ご購入時の状態に戻すには	16
	3.2 通信ができない場合には	17
	3.3 故障した場合の修理について	18
A	付録	19
	A.1 装置仕様	19
	A.2 ランプ表示について	20



ここでは、ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カード (IFPC : ISDN FAX Processor Card) の概要について説明します。

1.1 IFPC とは

IFPC とは、ISDN 網に接続する G3/G4FAX 対応の PCI バス通信アダプタであり、以下の特徴があります。

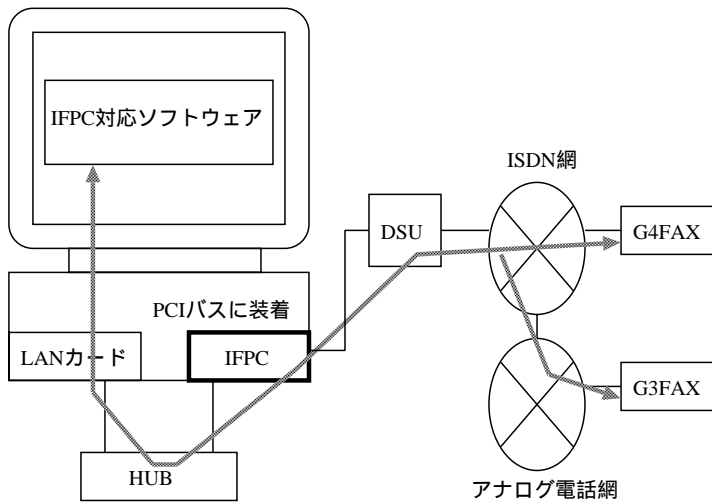
- ISDN 回線をサポート
ISDN による G3/G4FAX 通信を実現します。
- ECM 手順サポート
FAX 通信の誤り訂正手順です。
- サーバとは LAN インタフェースを採用
IFPC とサーバは、ドライバを経由せず LAN インタフェース経由での制御を実現します。
- PCI バスの有効活用
IFPC は、サーバの PCI バスに実装するものであり、PCI バスからは電源の供給のみ受けるため、IRQ などのシステム資源を使用せずに実装でき、空きスロットを有効に活用できます (IFPC は、PCI ロングカードサイズです) 。

1 概要

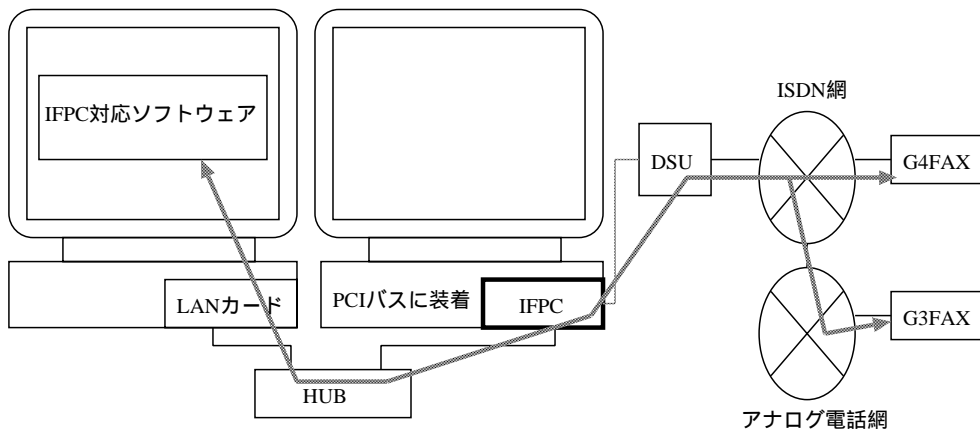
1.2 システム概要

以下に、IFPC を実装したシステム概要図を示します。

[自サーバにIFPCを搭載している場合]



[他サーバにIFPCを搭載している場合]



注意 IFPC 対応ソフトウェアを搭載したサーバと IFPC は、同一ネットワークに属する必要があります。また、同一ネットワーク番号にする必要があります。

運用形態と準備作業

2

ここでは、IFPC を使用するために必要な、準備作業について説明します。

2.1 IFPC の運用形態と準備作業の関係

以下に、準備作業の流れと本書での参照先を示します。

2 運用形態と準備作業

1 LAN切り替えスイッチを「HUB」にする

「2.4 接続形態」参照

2 IFPCを実装（同時に複数枚実装可能）

「2.5 IFPCの実装方法」参照

3 サーバの電源を入れる

注意 IFPCのCHECKランプが無灯であることを確認してください。

4 IFPC環境設定ツールのインストール

「2.2.1 環境設定ツールのインストール」参照
IFPCの増設時や2枚目以降の設定時は不要です。

5 サーバのIPアドレスを控える

6 サーバのIPアドレスの変更

「2.3 サーバのIPアドレスの変更」参照

7 10BASE-Tケーブル（クロスケーブル）でIFPCとサーバを直接接続する

「2.4 接続形態」参照

8 IFPC環境設定で、IFPCの定義を作成する

「2.6 IFPCの環境設定」参照

注意

- すべての環境設定が完了していない、または、同時に複数枚設定する場合は、手順7からもう一度行います。
- 複数枚のIFPCを定義する場合は、ご購入時のIPアドレスが重複するため、1枚ずつ10BASE-Tケーブル（クロスケーブル）へ接続してください。

9 サーバのIPアドレスを元に戻す

手順5で控えたサーバのIPアドレスに戻します。

10 サーバの電源を切る

12 手順7でIFPCとサーバを接続していた10BASE-Tケーブル（クロスケーブル）を抜き、10BASE-Tケーブル（ストレートケーブル）でIFPCとサーバをHUBに接続する

13 サーバの電源を入れる

14 IFPC対応ソフトウェアのデバイスグループを定義する

注意 IFPC対応ソフトウェアの設定を行う前に、IFPCのLANランプが正常であることを確認してください。
<<正常時>> LANランプ：緑で点灯 ISDNランプ：無灯

ハードウェア
設置作業

システム
設定作業

2.2 環境設定ツールのインストールとアンインストール

IFPC の環境設定用ソフトウェアのインストールとアンインストールについて説明します。

2.2.1 環境設定ツールのインストール

IFPC を使用する前に、環境設定用ソフトウェアをインストールします。

環境設定用ソフトウェアは、以下の条件をみたすサーバにインストールできます。

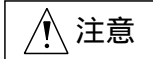
- OS が Windows NT[®] V4.0 以降のサーバ
- ネットワーク環境 (TCP/IP) が構築されているサーバ
- ソフトウェア (IFPC をサポートしているもの) をインストールするサーバ

以下の手順で行います。

- 1) サーバを起動し、Administrators 権限のアカウントでログオンします。
- 2) 他のアプリケーションを起動している場合は、すべて終了させてください。
- 3) IFPC に添付のインストールディスクから「setup.exe」を起動し、画面の指示に従ってインストールしてください。

2.2.2 環境設定ツールのアンインストール

IFPC の環境設定ツールのアンインストールは、Windows NT[®] の [アプリケーションの追加と削除] から行います。



注意

運用中は、アンインストールしないでください。

環境設定ツールをアンインストールする前に、以下の定義を削除してください。

- IFPC 対応のソフトウェアからデバイス定義を削除
詳細は、IFPC 対応のソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- IFPC の定義を削除
詳細は、「2.6.3 IFPC の定義を削除するには」を参照してください。

以下の手順で行います。

- 1) サーバを起動し、Administrators 権限のアカウントでログオンします。
- 2) 他のアプリケーションを起動している場合は、すべて終了させてください。
- 3) タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] の [IFPC] の [IFPC 環境設定] をクリックします。
IFPC 環境設定画面が表示されるので、IFPC 名がすべて削除されているか確認します。
IFPC 名がある場合は削除します。
- 4) タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[設定] の [コントロールパネル] をクリックします。
- 5) コントロールパネルが表示されるので、[アプリケーションの追加と削除] を起動します。
- 6) アプリケーションの追加と削除のプロパティが表示されるので、[インストールと削除] タブで「IFPC」を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックします。
- 7) ファイル削除の確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。
IFPC の環境設定用ツールが削除されます。

2.3 サーバの IP アドレスの変更

IFPC とサーバとの間は、LAN (TCP/IP プロトコル) で通信を行います。
IFPC のネットワークアドレスは、ご購入時の状態として以下の値が設定されています。

表 2.1 IFPC ご購入時のネットワーク設定値

パラメータ名	値
IP アドレス	192.168.0.10
サブネットマスク	255.255.255.0

ご購入時の状態の IFPC とサーバを接続し、運用に適したネットワークアドレスを設定するには、IFPC をサポートするソフトウェアがインストールされたサーバの IP アドレスを、以下に示すネットワークアドレスに設定する必要があります。

表 2.2 サーバ側のネットワーク設定値

パラメータ名	値
IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

すべての IFPC の設定が終了した後に、サーバの設定を元に戻してください。



以下の操作を行うと、定義した値がご購入時の値に戻ります。

- 一度定義した後に削除した場合
- IFPC のリセットスイッチを 10 秒以上押し続けた場合

2.4 接続形態

接続形態は、準備作業時と運用時で異なります。
以下に、準備作業時と運用時の接続形態を示します。

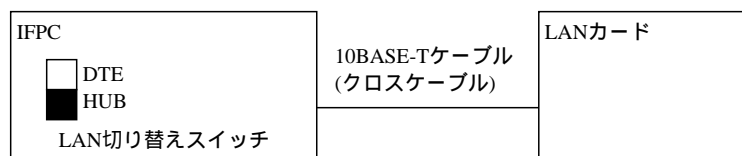


注意

- LAN 切り替えスイッチは「HUB」に設定してください。「DTE」は使用しないでください。
- セットアップを行う前は、既存の LAN ネットワークへ接続しないでください。
- 複数枚の IFPC を定義する場合は、ご購入時の IP アドレスが重複するため、1 枚ずつ 10BASE-T ケーブル（クロスケーブル）またはネットワークへ接続して実施してください。

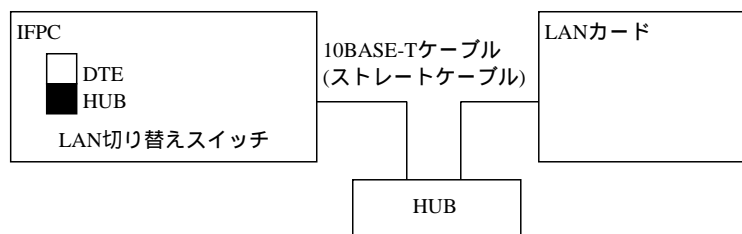
準備作業時の接続形態：10BASE-Tケーブル（クロスケーブル）でIFPCとサーバを直接接続する場合

LAN切り替えスイッチは、「HUB」に設定します。



運用時の接続形態：10BASE-Tケーブル（ストレートケーブル）でIFPCとサーバをHUBに接続する場合

LAN切り替えスイッチは、「HUB」に設定します。



2.5 IFPC の実装方法

IFPC は、サーバの PCI バスに実装してください。実装できるサーバは、ロングカードサイズの PCI スロットがあるものです。IFPC の環境設定ツールをインストールしたサーバ以外でも可能です。

実装方法については、ご使用のサーバの取扱説明書を参照してください。



警告

本カードをサーバに取り付けるときは、サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから取り外してください。感電の原因となります。



注意

本カードは静電気の影響を受けやすいので、部品面を下にして置くか、伝導パッドなどの上に置いてください。

また、拡張スロットの接点部分や部品には、素手で触らないでください。故障の原因となります。

2.6 IFPC の環境設定

IFPC を使用可能にするための環境設定について説明します。

表示されるメッセージについては、ヘルプを参照してください。ヘルプを表示するには、IFPC 環境設定画面で [ヘルプ] ボタンをクリックします。

2.6.1 IFPC の定義を追加するには

ここでは、IFPC の導入を行う場合の、IFPC 環境設定の追加方法について説明します。



注意

- IFPC 対応のソフトウェアが起動している場合は、停止してください。
- [設定] タブでの操作がエラーとなる場合は、[状態] タブで該当する IFPC の状態を調べてください。
- 追加を行う前に、LAN ランプが正常状態（緑で点灯）であることを確認してください。
- 追加を行ってから情報を変更する場合は、サーバの IP アドレスを元に戻してから行ってください。

操作手順

- 1) サーバを起動し、Administrators 権限のアカウントでログオンします。
- 2) タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] の [IFPC] の [IFPC 環境設定] をクリックします。

3) IFPC 環境設定画面が表示されます。



[設定] タブで以下の項目を設定し、[設定] ボタンをクリックします。

- 上部リスト ([IFPC 名][IP アドレス][コメント])
定義済みの IFPC の情報が表示されます。各項目について説明します。
 - [IFPC 名] IFPC に設定されている IFPC 名が表示されます。
IFPC 名とは、IFPC を管理 / 識別するための一意な名前です。
 - [IP アドレス] IFPC に設定されている IP アドレスが表示されます。
 - [コメント] IFPC に設定されているコメントが表示されます。
- IFPC 名
追加する IFPC の IFPC 名を選択します。
ここで定義した IFPC 名は、アプリケーションソフトのデバイスで使用します。
- IP アドレス
IFPC に設定する IP アドレスを、ドット付き 10 進数で指定します。
新規に追加する場合、ご購入時の状態 (192.168.0.10) が表示されます。
システム管理者から割り当てられた一意の IP アドレスを指定します。
- サブネットマスク
運用時に IFPC を接続する LAN のサブネットマスクを、ドット付き 10 進数で指定します。
新規に追加する場合、ご購入時の状態 (255.255.255.0) が表示されます。

- コメント
設定する IFPC に対するコメントを、半角 40 文字 (全角 20 文字) 以内で指定します。
IFPC を交換する場合に必要となりますので、実装したサーバ名、スロット 番号など識別可能な内容をコメントとして記述してください。
- デバイス A 情報 / デバイス B 情報
IFPC は、1 枚で 2 つの ISDN の B チャネルを使用できます。IFPC 対応のソフトウェアでは、各 B チャネルをデバイスとして扱います。
2 つのデバイスに対する定義項目をそれぞれ「デバイス A 情報」、「デバイス B 情報」で設定します。
アプリケーションソフトは IFPC の 2 つのデバイスを、「IFPC 名-A」、「IFPC 名-B」として管理し、それぞれ「デバイス A 情報」、「デバイス B 情報」に対応付けられています。
 自局電話番号 IFPC に接続する ISDN の電話番号を、半角 32 文字以内の数字、ハイフン (-) および空白で指定します。
 サブアドレス ISDN のサブアドレスを、半角 19 文字以内の数字で指定します。
 発信番号のサブアドレスの有無や、IFPC 環境設定の [サブアドレス] の設定の有無を問わず FAX 受信できます。
 G4FAX 受信の場合、サブアドレスを設定し FAX 受信回線を分けるときは、お互いのデバイス名にサブアドレスを定義する必要があります。
 XXX-A : サブアドレス 1 XXX-B : サブアドレス 2
- [設定] ボタン
追加または更新した IFPC の情報を有効にし、上部リストに表示します。
- [削除] ボタン
[IFPC 名] で選択した IFPC の定義を削除します。
- [OK] ボタン
設定を有効にして画面を閉じます。

- 4) 上部のリストに、追加した IFPC の情報が表示されます。
[OK] ボタンをクリックします。
IFPC の設定が終了します。
IFPC を利用するソフトウェアを再起動することで、環境設定が反映されます。
- 5) すべての環境設定が終わったら、サーバの IP アドレスを元に戻し、再起動してください。



注意

- [設定] タブでの操作がエラーとなる場合は、[状態] タブで該当する IFPC の状態を調べてください。
- 自局電話番号を設定する場合、以下の注意が必要です。
 - 着信時にデバイスの呼び分けを行うには、ダイヤルイン (NTT 有料サービス) 契約を行う必要があります。
 - グローバル着信は利用しない、という契約を行ってください。
 - ISDN の基本機能であるサブアドレスを使用しても同様な呼び分けができませんが、相手が電話回線に接続された G3FAX の場合などは、サブアドレス情報のやり取りができないため、呼び分けはできません。

2.6.2 IFPC の定義を変更するには

ここでは、IFPC の設定を変更する場合の、IFPC 環境設定の更新方法について説明します。



注意

- IFPC 対応のソフトウェアが起動している場合は、停止してください。
- [設定] タブでの操作がエラーとなる場合は、[状態] タブで該当する IFPC の状態を調べてください。

操作手順

- 1) サーバを起動し、Administrators 権限のアカウントでログオンします。
- 2) タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] の [IFPC] の [IFPC 環境設定] をクリックします。
- 3) IFPC 環境設定画面が表示されます。



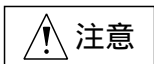
[設定] タブの [IFPC 名] で、IFPC の設定を変更する IFPC 名を選択します。

- 4) 必要な項目を変更し、[設定] ボタンをクリックします。
- 5) 選択した IFPC 名の IFPC 情報が変更され、上部のリストに表示されます。
- 6) [OK] ボタンをクリックします。
IFPC の設定が終了します。

2.6.3 IFPC の定義を削除するには

ここでは、IFPC の設定を削除する場合の、IFPC 環境設定の削除方法について説明します。
運用中の IFPC を取り外す場合は、以下の設定を削除する必要があります。

- IFPC 対応のソフトウェアからデバイス定義の削除
- IFPC 環境設定から IFPC の定義を削除



- IFPC 対応のソフトウェアが起動している場合は、停止してください。
- 該当する IFPC と通信可能な状態となっている必要があります。
- 削除すると、IFPC に設定されている IP アドレスおよびサブネットマスクなどの情報がご購入時の状態に戻ります。
- [設定] タブでの操作がエラーとなる場合は、[状態] タブで該当する IFPC の状態を調べてください。

操作手順

- 1) サーバを起動し、Administrators 権限のアカウントでログオンします。
- 2) タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] の [IFPC] の [IFPC 環境設定] をクリックします。
- 3) IFPC 環境設定画面が表示されます。



[設定] タブの [IFPC 名] で、IFPC の設定を削除する IFPC 名を選択し、[削除] ボタンをクリックします。

- 4) IFPC の設定を削除してもよいかを問うメッセージが表示されます。
[OK] ボタンをクリックします。
選択した IFPC 名の IFPC 情報が削除され、上部のリストから削除されます。
- 5) [OK] ボタンをクリックします。
IFPC 環境設定が終了します。

2.7 状態表示

ここでは、IFPC 環境設定画面の [状態] タブについて説明します。

[状態] タブでは、定義済みの IFPC のファームウェアレベルや通信状態を表示できます。

以下に [状態] タブの表示方法と各項目について説明します。

表示方法

- 1) サーバを起動し、Administrators 権限のアカウントでログオンします。
- 2) タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] の [IFPC] の [IFPC 環境設定] をクリックします。
- 3) IFPC 環境設定画面が表示されます。
[状態] タブをクリックすると、[状態] タブが表示されます。



以下に、[状態] タブのリスト項目および各ボタンについて説明します。

IFPC 名 定義済みの IFPC の IFPC 名が表示されます。

レベル IFPC に格納されているファームウェアレベルが表示されます。

何らかの原因（電源切断、ケーブル抜けなど）で IFPC と通信できない場合は、ハイフン（-）が表示されます。

レベルが表示されていない IFPC とは通信できません。また、[設定] タブでの、IP アドレスの変更および定義の削除もできません。

通信状態 定義した IFPC と相手 FAX との通信状態を表示します。以下の状態が表示されます。

使用中 IFPC は、IFPC 対応ソフトウェアによって使用されています。または、通信中です。

未使用 IFPC は、通信を行っていません。
IFPC 対応ソフトウェアが使用していません。

使用不可 IFPC は、何らかの障害のため使用できません。

IFPC の通信状態が [使用中] の場合は、[設定] タブで定義の更新および削除ができません。環境設定を行う場合は、IFPC 対応ソフトウェアを停止させてください。

コメント IFPC に定義されたコメントが表示されます。

[最新情報] ボタン

クリックすると、最新の情報が表示されます。

[OK] ボタン

画面を閉じます。

2.8 IFPC を交換するには

ここでは、IFPC の交換手順について説明します。

IFPC の故障などの原因で IFPC を交換する場合、交換後の IFPC の環境設定は、交換前の環境設定を使用できます。

以下に、交換手順と本書での参照先を示します。

交換手順

- 1) IFPC 環境設定画面を起動し、交換する IFPC の設定を控えます。
[状態] タブの「コメント」から、交換する IFPC の搭載位置（サーバ名やスロット搭載位置など）を確認します。
(IFPC 環境設定画面の起動については、「2.6.2 IFPC の定義を変更するには」を参照してください。)
- 2) 交換する IFPC の定義を削除します。
(IFPC の定義の削除については、「2.6.3 IFPC の定義を削除するには」を参照してください。)
- 3) IFPC を取り外します。
(取り外し手順については、ご使用のサーバの取扱説明書を参書してください。)
- 4) 新しい IFPC を取り付け、IFPC の定義を行います。
IFPC の定義は、手順 1 で控えた交換前の設定を定義します。
(作業手順については、「2.1 IFPC の運用形態と準備作業の関係」を参照してください。また、実装方法については、ご使用のサーバの取扱説明書を参書してください。)

困ったときに

3

3.1 ご購入時の状態に戻すには

本カードの設定ミスや、下記のトラブルなど、お困りになった場合にはご購入時の状態に戻すことができます。

ご購入時の状態に戻すには、本カードのリセットスイッチを 10 秒以上押し続けます。

- 設定ミスと思われる動作のための再設定。
- その他の理由ですべての設定を消去したい。



本カードのリセットスイッチを押すと、導入後に行った設定内容がすべて失われます。

3.2 通信ができない場合には

通信ができない場合には、以下の項目について確認してください。

インストール後のトラブル

トラブル内容	原因	チェックポイント・対処方法
インストールは成功したが、IFPC のグループが [スタート] ボタンから見えない	Administrators 権限以外でインストールしたため	Administrators 権限でログオンして IFPC をアンインストールし、再度、IFPC をインストールする
インストール成功後、IFPC 環境設定の [IP アドレス] を設定してもエラーとなる	IFPC アンインストール時に、[IFPC 名] の削除を行わないで、再度、インストールしたため、IFPC の IP アドレスがご購入時の設定値に戻っていない	設定できない IFPC のリセットボタンを 10 秒以上押し初期値に戻し、再度、設定を行う
	IFPC とサーバとの間で LAN 上のエラーが発生している	ネットワーク構成を見直す <ul style="list-style-type: none"> ・ LAN 切り替えスイッチが正しく設定されているか ・ 10BASE-T ケーブル (クロスケーブル) が正しく接続されているか ・ IFPC とサーバのネットワーク番号が同じか など

起動時のトラブル

トラブル内容	原因	チェックポイント・対処方法
サーバの電源スイッチを入れても動作しない (CHECK ランプがオレンジ点灯)	ハードウェア障害	弊社技術員に連絡する
LAN がつながらない (IFPC 環境設定で、状態表示ができない。状態が「-」となる)	IP アドレスまたはサブネットマスクの設定に誤りがある	サーバおよび IFPC の、IP アドレスおよびサブネットマスクの設定を、IFPC 環境設定で確認する

3 困ったときに

FAX 通信時のトラブル

トラブル内容	原因	チェックポイント・対処方法
ISDN がつながらない	相手番号が違う	相手番号を確認する
	ISDN サブアドレスが違う	ISDN サブアドレスを確認する
	回線障害	NTT に調査依頼
ISDN ランプ（緑）が点灯しっぱなしで、切断されない	ISDN 回線接続中にサーバが誤動作した	IFPC 対応ソフトウェアを停止し、IFPC をリセット後に、IFPC 対応ソフトウェアを再起動する。 それでも切断できない場合は、サーバの電源を OFF にして、回線を切断する
ISDN ランプ（橙）が点滅して、FAX 通信ができない	正しく S/T 点（ISDN）ケーブルが接続されていない	ISDN 環境を調査する
LAN がつながらない（IFPC 対応ソフトウェアから IFPC にアクセスできない）	通信中に LAN が切断された。または、何らかの障害によって、LAN 上でエラーが発生した	IFPC 対応ソフトウェアを停止し、IFPC をリセット後に、対応ソフトウェアを再起動する
LAN ランプ（橙）が点滅して、FAX 通信ができない	正しく 10BASE-T ケーブル（ストレートケーブル）が接続されていない。 または、正しくネットワークアドレスが設定されていない	LAN 環境を調査する

なお、トラブル発生時は、IFPC をサポートするソフトウェアの出力メッセージ（イベントログに表示）に従って対処してください。

3.3 故障した場合の修理について

本カードが故障した場合には、弊社技術員に連絡してください。

付録

A

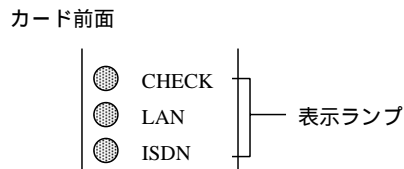
この章では、装置の仕様およびランプ表示について説明しています。

A.1 装置仕様

ISDN	基本インタフェース (ITU-T I.430)	
	回線数	1 回線
	回線速度	Bch:64K ビット/秒 × 2
LAN	10BASE-T(IEEE802.3) 8 ピンモジュラジャック (RJ45)	
	ポート数	1 ポート
	通信速度	10Mbps
	接続形態	DTE 直結/HUB 接続 切り替え
通信圧縮形式	MH、MR、MMR	
消費電力	7W	
外形寸法	PCI ロングカードサイズ	

A.2 ランプ表示について

本カードの前面には、3つのランプがあります。以下に、これらの表示内容について説明します。



<正常時>

LAN ランプ (緑) LAN の状態を表示します。通信可能状態で点灯し、通信が行われると点滅します。

ISDN ランプ (緑) ISDN の状態を表示します。
相手装置との接続完了時に点灯します。
Bチャンネルでの通信が行われる(データがやり取りされる)と点滅します。

<異常時>

CHECK ランプ (橙) エラー発生時、橙色で点灯します。

LAN ランプ (橙) LAN ポートが通信不可能な場合に点滅します。

- HUBの電源が入っていない場合
- 初期診断時に、ケーブル接続が正しくない場合
- 通信中、ケーブル接続が正しくない場合
(通信していない状態でケーブルが抜けた場合は、緑色で点灯します)

ISDN ランプ (橙) ISDN ポートが通信不可能な場合に点滅します。

- ケーブル接続が正しくない場合